

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 事業名
546 下水道施設の耐震化事業（マンホールトイレ設置事業等）

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	下水道		
	款	下水道事業費		
	項	下水道建設費		
	目	下水道建設費		
大事業	目	下水道建設事業		
	事項	下水道施設の耐震化事業（補助・単独）		
「3つのキーワード」との関連性				
いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず	
○				

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	1	総合防災対策の充実
施策	1	災害に強いまちづくりの推進
取組	4	ライフラインの確保

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	H20 ~ H25		
事業実施の根拠法令	下水道法		
関連個別計画	下水道総合地震対策計画		
担当課・担当課長 (Tel)	下水道経営課	巽 和祥	(073-435-1093)
関連課	総合防災課、下水道建設課		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	下水道総合地震対策計画において選定された避難所にマンホールトイレを設置することにより、災害時に利用可能なトイレを確保する。 また、既設管渠に対し長寿命化計画を策定・実施することにより、管渠の長寿命化及び耐震化を図る。	マンホールトイレの設置 （公共下水道整備済区域内における地域防災計画で位置付けられた避難所へ設置） 管路施設の長寿命化計画策定・実施 （管渠布設年度が古い排水区・分區を対象に、管渠の劣化状況等を調査し、長寿命化の実施方法や年次計画を策定。その後、適正な工法を選定し、長寿命化工事を実施する。）				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		マンホールトイレの実施設計 管路施設長寿命化の計画	マンホールトイレの実施設計 マンホールトイレの施工 管路施設長寿命化の計画	マンホールトイレの施工 管路施設長寿命化の計画	マンホールトイレの施工 管路施設長寿命化の計画	マンホールトイレの実施設計 マンホールトイレの施工 管路施設長寿命化の計画 管路施設長寿命化工事

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	65,846	65,791	119,327	115,631	138,439	130,607	174,867	170,046	241,164	
伸び率 (%)	-	-	81.2%		16.0%		26.3%		37.9%	
人件費	常勤職員	7,306	7,157	13,328	12,984	12,480	12,582	12,061	11,855	11,636
	非常勤職員									
	小計	7,306	7,157	13,328	12,984	12,480	12,582	12,061	11,855	11,636
国庫支出金	37,400	37,400	54,350	54,350	47,927	47,927	56,872	56,872	113,000	
県支出金										
市債	4,136	4,136	50,668	49,064	50,580	42,980	68,821	64,048	78,964	
その他			8,309	6,424	17,231	17,220	0	0	0	
一般財源（税等）	24,310	24,255	6,000	5,793	22,701	22,480	49,174	49,126	49,200	
所要人数	常勤職員	0.95	0.94	1.73	1.72	1.65	1.66	1.6	1.6	1.57
	非常勤職員									
主な予算内訳	マンホールトイレ設置工事等 約85,000 調査設計委託等 約115,000									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	マンホールトイレ設置箇所数					年度目標値	0	5	10	15	20
						実績値		0	6	12	
	単位	箇所	全体目標値	20	全体目標達成度	30.0%	年度別達成度		0.0%	60.0%	80.0%
							年度目標値	0	45	90	150
成果指標	マンホールトイレ設置基数					実績値		0	55	115	
		単位	基	全体目標値	260	全体目標達成度	21.2%	年度別達成度		0.0%	61.1%
					年度目標値	0	4,500	9,000	15,000	26,000	
					実績値		0	5,500	11,500		
マンホールトイレ利用可能人数	単位	人	全体目標値	26000	全体目標達成度	21.2%	年度別達成度		0.0%	61.1%	76.7%
							年度目標値				
					実績値						
					年度別達成度						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>設置避難所管理者等との協議による遅延や施工時期の制約を受けたことにより、若干遅れているが、概ね計画どおりの進捗となっている。</p> <p>被災時避難場所におけるトイレ使用制限の長期化により、市民の健康・社会活動に重大な支障を及ぼすことが、過去の大地震発生時の事例として確認されていることから、本市においても下水道整備済区域を対象に「下水道総合地震対策計画」に基づき、避難所におけるマンホールトイレの整備を計画的に実施していくことが妥当であると考えます。</p>
<p>「見直し」 「改善」案</p> <p>※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「<u>現状維持</u>」以外の場合は記載</p>	